

事務連絡  
平成24年1月10日

都道府県労働局労働基準部  
労災補償課長 殿

厚生労働省労働基準局労災補償部  
補償課職業病認定対策室  
職業病認定業務第一係長

「脳・心臓疾患／精神障害等処理経過簿システム」に係る今後の入力の際の注意点について

平成23年12月26日付け基発1226第1号「心理的負荷による精神障害の認定基準について」（以下「認定基準」という）の発出日以降に決定する事案に係る「脳・心臓疾患／精神障害等処理経過簿システム」（以下「処理経過簿システム」という。）の入力にあたっては、当面の間、下記の点にご留意いただくようお願いいたします。

## 記

### 1 備考欄の記載

#### (1) 精神障害事案の備考欄1の記載について（別添1の項目44参照）

精神障害事案の備考欄1には、従来「心理的負荷の強度」、「総合評価」及び「出来事コード」を入力することとしていましたが、今後は、「総合評価」、「出来事コード」及び「医学意見」を入力してください。

「医学意見」の入力にあたっては、主治医意見による判断を行った事案については①、専門医意見による判断を行った事案については②、専門部会意見による判断を行った事案については③を入力してください。なお、出来事コードの入力については下記2を参照してください。

#### (2) 発病後の悪化について業務上と認めた事案について

発病後の悪化について業務上と認めた事案については、備考欄3に「発

病後の悪化」と入力してください。

## 2 出来事コード表の変更

別添2のとおり、処理経過簿システムの出来事コード表を認定基準の別表1「業務による心理的負荷評価表」に対応させたので、出来事コードの入力は、これに従って行ってください。

## 3 その他

上記1及び2以外に、処理経過簿システムに係る入力の際の注意点に変更はないので、引き続き、別添1に留意の上、入力を行ってください。

なお、認定基準の発出前に支給・不支給決定を行った事案については、従前どおりの入力方法で入力してください。

処理経過簿システムの入力にあたり不明な点がある場合は、職業病認定業務第一係までご連絡ください。

(連絡先 03-5253-1111 内線5572)

## 平成23年度脳・心臓疾患／精神障害等処理経過簿システム入力の際の注意点

(H23. 12. 26以降に決定する精神障害事案についての注意点)

## (1) 入力全般に係る注意点

- 各項目への入力の際には、必ず直接入力かリストからの選択入力を行うこと。  
(コピー・貼り付け処理は行わない)
- 入力事案を削除する場合は、削除フラグ入力により行うこと。具体的な手順はシステム操作マニュアルのP31～P34参照。  
(入力項目を個別に削除していても、事案そのものは削除できない)
- 下記(2)で入力内容、入力(選択)例、注意点が着色されている欄は、重要入力項目であるので、特に注意して入力を行うこと。
- 審査請求事案の取消決定等により再度処分を行った事案は、再度の入力は行わないこと。

## (2) 各項目ごとの注意点

項目	入力内容	入力(選択)例	注意点等
1 地方労働局	労働局名を選択	北海道	直接入力禁止
2 労働基準監督署名	監督署名を選択 監督署名の変更があった場合は、操作マニュアルP66～P67頁参照	札幌中央	直接入力禁止
3 労働者氏名	労働者の氏名を入力	認対 太郎	姓と名の間は1字(全角)空ける。
4 生年月日	生年月日を入力	1980/04/01 S55/04/01	請求書に記載されている労働者の生年月日を入力する。 半角入力、年月日の間はスラッシュ「/」を入れる。
5 性別	性別を選択	男	直接入力禁止
6 精神障害・自殺	精神のみ 請求時に精神障害事案か自殺事案かを選択	自殺	直接入力禁止 自殺未遂の事案については、「自殺」を選択すること。
7 発症年月日	発症年月日を入力	2010/04/01 H22/04/01	精神の場合は、部会により発病日が決定するまでは請求書記載の傷病年月日を仮入力し、部会で特定後、特定された日付に修正する。 半角入力、年月日の間はスラッシュ「/」を入れる。 請求年月日より前の日付であること。
8 発症時年齢	自動入力	30歳	項目4及び7の入力内容に応じて、自動入力される。
9 生死	脳心のみ 請求時の生死を選択	死	直接入力禁止
10 死亡年月日	脳心のみ 死亡年月日を入力	2010/04/01 H22/04/01	請求時に労働者が請求書記載の疾病により死亡している場合に入力を行う。 半角入力、年月日の間はスラッシュ「/」を入れる。
11 事業場名	事業場名を入力	ニコニコローン	企業形態や法人格を示す一般的な呼称は入力を省略して差し支えない。 (省略名称例) 株式会社、有限会社、医療法人、財団法人、社会福祉法人、学校法人、独立行政法人、国立大学法人、社団法人 等
12 労働保険番号	労働保険番号を入力	9999999999-000	請求書に記載されている労働保険番号を入力する。
13 業種	業種を入力	金融業	労働保険番号を入力した事業場の業種を入力する。
14 職種	職種を入力	営業	請求書に記載されている職種を入力する。
15 <標準>業種	標準業種を選択 日本標準産業分類における大分類(平成23年6月9日付け事務連絡「『脳・心臓疾患/精神障害等処理経過簿システム』に係る年度更新処理等について(依頼)」の別添2-2参照)	金融・保険業	直接入力禁止 必ずプルダウンリストからの選択入力を行う。 「分類不能の産業」は極力選択しないこと。選択する場合は、本省協議とする。
16 <標準>職種	標準職種を選択 日本標準職業分類における大分類(平成23年6月9日付け事務連絡「『脳・心臓疾患/精神障害等処理経過簿システム』に係る年度更新処理等について(依頼)」の別添2-3参照)	事務従事者	直接入力禁止 必ずプルダウンリストからの選択入力を行う。 「分類不能の職業」は極力選択しないこと。選択する場合は、本省協議とする。
17 傷病名	精神障害等(6ヶ月を超える療養中に発病したもの)のみ そもそも療養するに至った原疾患名を入力	じん肺	調査によって判明した原疾患名を入力する。
18 請求年月日	請求年月日を入力	2010/04/01 H22/04/01	必ず請求書受付時の日付を入力する。 発症年月日より後の日付であること。 半角入力、年月日の間はスラッシュ「/」を入れる。
19 請求号	請求号を選択	9	直接入力禁止。 脳心は「1」又は「8」、 精神は「1」又は「9」を選択する。

項目	入力内容	入力(選択)例	注意点等
20 療養給付	該当する請求内容を選択	遺族	直接入力禁止 請求人から提出された請求内容を選択する。
21 休業給付			
22 障害給付			
23 遺族給付			
24 速報受付	監督署からの速報受付日を入力	2010/04/01 H22/04/01	事案の進行状況管理のための日付入力欄 半角入力、年月日の間はスラッシュ「/」を入れる。
25 局署協議(初回)	局署の初回協議日を入力	2010/04/01 H22/04/01	
26 局署協議(最終)	局署の最終協議日を入力	2010/04/01 H22/04/01	
27 部会合議	精神のみ 部会の開催日を入力	2010/04/01 H22/04/01	
28 本省協議	本省協議を行った場合の日付を入力	2010/04/01 H22/04/01	
29 決定年月日	決定年月日を入力	2010/04/01 H22/04/01	必ず入力年度内の日付を入力する。 空白の場合は、項目30の処分結果も空白となる。 半角入力、年月日の間はスラッシュ「/」を入れる。
30 結果	決定年月日が入力されている場合は「支給」「不支給」「取下等」のいずれかが選択されていること	支給	直接入力禁止 原処分における処分結果を選択すること(審査請求等による取消があった場合でも、処分結果は変更しないこと。)
31 処分号	「支給」の場合のみ処分号を選択	9	直接入力禁止 脳心は「1」又は「8」、 精神は「1」又は「9」を選択する。
32 認定要件	脳心のみ 認定要件を入力 処分号が「8号」の場合は、「異常」「短期過重」「長期過重」のいずれかが選択されていること	長期過重	直接入力禁止 項目31が「8号」の場合、必ず選択する。
33 評価期間	評価期間を選択	6	直接入力禁止 項目34で入力する時間外労働時間数の評価期間を選択する。
34 平均時間外労働時間数(入力欄)	事実認定した時間外労働時間数を入力 上段に「時間」、下段に「分」を入力	98.00	脳心事案、精神事案いずれも入力する。 脳心事案は、復命書又は調査票に記載されている時間外労働時間数(1か月～6か月平均)のうち、最も時間の長いものを入力する(長期過重の場合に限る)。 精神事案は、精神障害の発病に関与した出来事が発生した月から精神障害が発病した月までの間における1か月平均の時間外労働時間数を入力する。なお、極度の長時間労働があったとして支給決定した事案については、極度の長時間労働(最大値)を入力する。
35 疾患名(請求時)	請求時の疾患名を入力	心筋梗塞	請求書に記載されている疾病を入力する。
36 脳・虚血疾患区分	脳心のみ 請求時の脳・虚血性区分を選択	虚血性心疾患等	直接入力禁止 項目35の疾患名(請求時)と疾患部位の区分が一致していること。
37 疾患名(決定時)	脳心: 決定時の疾患名を入力	心筋梗塞	疾患名(請求時)の項目と異なる場合は、誤りがないか確認する。
	精神: 決定時の疾患名を入力	〇うつ病エピソード ×F32うつ病エピソード	処分号が「9号」の場合は、必ず疾患名を入力する。 またその際、項目38「<標準疾患名>(決定時)」で選択したICD-10の診断カテゴリーに含まれる疾患名と必ず一致していること。 ((例)項目38「<標準疾患名>(決定時)」でF3「気分(感情)障害」が選択されているのに、本項目に「外傷後ストレス障害」等が入力されているようなことがないこと) なお、「総死」等の死因は、疾患名でないことから入力しないこと。 不支給決定事案で疾患名が確認できなかった場合は「不明」と入力する。 また、「F32.0」等のICD-10の診断コードの入力は省略し、疾患名のみ入力する。

項目	入力内容	入力(選択)例	注意点等
38 <標準疾患名>(決定時)	脳心: 決定時の標準疾患名を入力	心筋梗塞	直接入力禁止 脳心の支給決定事案については、必ず認定基準に掲げる疾病名が選択されていること。 なお、該当疾病名が表示されていない場合には、プルダウンリストを上下にスクロールさせること。 「脳血管系疾患」、「急性心不全」、「虚血性系心疾患」、「その他」は選択しないこと。 「急性心不全」であって疾患名が特定されず認定基準によって判断した事案については、データ入力上「心停止」とすること。
	精神: 決定時の標準疾患名を入力	気分[感情]障害	直接入力禁止 疾患名の選択誤りに注意すること。また、項目37「疾患名(決定時)」の入力内容と矛盾しないこと。 該当するICD-10の診断名が表示されていない場合には、プルダウンリストを上下にスクロールさせること。
39 審査請求有無	審査請求の有無を選択	有	事案の進行状況管理のための選択入力欄
40 審査請求日付	審査請求が行われた日付を入力	2010/04/01 H22/04/01	事案の進行状況管理のための日付入力欄 半角入力、年月日の間はスラッシュ「/」を入れる。
41 裁量労働適用有無	裁量労働制の適用の有無を選択	有	
42 処理期間	自動入力		請求年月日から決定年月日までの期間を自動で計算し入力される。
43 処理状況	自動入力		請求年月日から、一定期間経過ごとに自動入力される(決定年月日が入力されると消去される)。
44 備考1	脳心: 認定要件が「長期過重」であるにもかかわらず、平均時間外労働時間数が80時間を下回る場合は、その他の負荷要因を入力すること	出張の多い業務、 精神的緊張を伴う業務	
	精神: 「総合評価」「出来事コード」を入力すること	・一般入力例 中・300・② ・特別な出来事入力例 強・370・① ・出来事類推の際の入力例 強・309・③ ・出来事なしの場合の入力例 なし・出来事なし	数字は半角入力する。 総合評価は弱・中・強、出来事コードは別添2に基づき、必ず入力例のように入力する。 複数の出来事を評価した場合は、主たる出来事一つに絞り、出来事コードを入力する。 部会意見書等で総合評価が「強に至らない」とされている場合には、空欄とはせず「中」を入力する。 主治医意見による判断を行った事案は①、専門医意見による判断を行った事案は②、専門部会意見による判断を行った場合は③と入力すること。
45 備考2	平成21年9月29日付け事務連絡に基づき、雇用形態の区分を、右の入力例からいずれか一つ、入力すること	①正規職員・従業員 ②契約社員 ③派遣労働者 ④パート・アルバイト ⑤その他	区分の内容については、平成21年9月29日付け事務連絡を参照すること。 いずれに区分すべきか判断がつかない場合は本省協議とする。 特別加入及び労働者性がない場合は「⑤その他」に含める。
46 備考3	回送事案である場合や、精神事案で自殺未遂の場合に入力	・回送事案入力例 平成21年2月8日〇〇局△△署 より回送受理 ・自殺未遂事案入力例 自殺未遂	その他、特に記録する事実があれば、適宜入力する。 精神事案で時間外労働時間数を調査していない場合は、「時間数調査なし」と入力すること。 特別加入の場合は「特別加入」、労働者性がない場合は「労働者性なし」と入力すること。 請求の時点で、請求人が東日本大震災に関連する出来事を申し立てているもの、または調査により東日本大震災に関連する出来事を把握したものについては、「震災関連」と入力すること。 発病後の悪化について業務上と認めたものについては、「発病後の悪化」と入力すること。
47 <標準>業種(中)	標準業種の中分類を選択<別添2-2参照>	貸金業、クレジットカード業等 非預金信用機関	直接入力禁止 項目15入力した大分類の内容に応じて、選択項目が異なる。
48 <標準>業種(小)	標準業種の小分類を選択<別添2-2参照>	貸金業	直接入力禁止 項目47で入力した中分類の内容に応じて、選択項目が異なる。
49 <標準>職種(中)	標準職種の中分類を選択<別添2-3参照>	営業・販売事務従事者	直接入力禁止 項目16で入力した大分類の内容に応じて、選択項目が異なる。
50 <標準>職種(小)	標準職種の小分類を選択<別添2-3参照>	営業・販売事務員	直接入力禁止 項目49で入力した中分類の内容に応じて、選択項目が異なる。

「脳心・精神障害等処理経過簿入力マニュアル」と処理経過簿入力フォーマットの項目番号対照表

脳血管疾患及び虚血性心疾患等の処理経過簿

247A No.	削除 777'	No.	周	番	発症年月日 発症時年齢 請求時の生死	事業場名 労働保険 番号 (標準業種) (標準職種)	処理経過 (年月日)						評価期間 平均時間外 労働時間	平均時間外 労働時間 (入力欄)	疾患名 (請求時) 疾患名 (決定時) 標準疾患名 (決定時)	審査請求 審査請求 審査請求	療養労働 制限 適用有無	処理期間 未処理状況	備考	(標準業種) 中分類 小分類	(標準業種) 中分類 小分類				
							請求年月日 及び内容	連絡受付 日	審査請求 (請求/承認 日)	審査合 議	本審監 査	決定年月 日										処分結果			
		1		1	7	11	18	24	25	28	29	30	32	33	ヶ月	34	時間	35	39	41	42	日	44	47	49
				4	8	12	19		26			31			ヶ月	34	分	36	40		43		45	48	50
				5	9	13	20											37							
					10	15	21											38							
						14	22																		
						16	23																		

精神障害等の処理経過簿

247A No.	削除 777'	No.	周	番	発症年月日 発症時年齢 請求時の生死	事業場名 労働保険 番号 (標準業種) (標準職種)	処理経過 (年月日)						評価期間 平均時間外 労働時間	平均時間外 労働時間 (入力欄)	疾患名 (請求時) 疾患名 (決定時) 標準疾患名 (決定時)	審査請求 審査請求 審査請求	療養労働 制限 適用有無	処理期間 未処理状況	備考	(標準業種) 中分類 小分類	(標準業種) 中分類 小分類				
							請求年月日 及び内容	連絡受付 日	審査請求 (請求/承認 日)	審査合 議	本審監 査	決定年月 日										処分結果			
		1			6								ヶ月		時間										
					7										ヶ月		分	35							
					8													37							
																		38							

精神障害等の処理経過簿 (6ヶ月を超える療養中に発病したもの)

247A No.	削除 777'	No.	周	番	発症年月日 発症時年齢 請求時の生死	事業場名 労働保険 番号 (標準業種) (標準職種)	業務上の 障害名	処理経過 (年月日)						評価期間 平均時間外 労働時間	平均時間外 労働時間 (入力欄)	疾患名 (請求時) 疾患名 (決定時) 標準疾患名 (決定時)	審査請求 審査請求 審査請求	療養労働 制限 適用有無	処理期間 未処理状況	備考	(標準業種) 中分類 小分類	(標準業種) 中分類 小分類			
								請求年月日 及び内容	連絡受付 日	審査請求 (請求/承認 日)	審査合 議	本審監 査	決定年月 日										処分結果		
		1					17							ヶ月		時間									
														ヶ月		分									

※精神障害等の処理経過簿及び精神障害等の処理経過簿(6ヶ月を超える療養中に発病したもの)については、特に注意を要するものを除き脳血管疾患及び虚血性心疾患等の処理経過簿と置換する番号を省略

## 出来事コード一覧表(1)

出来事の種類	具体的な出来事	コード
① 事故や災害の体験	(重度の) 病気やケガをした	010
	悲惨な事故や災害の体験、目撃をした	020
② 仕事の失敗、過重な責任の発生等	業務に関連し、重大な人身事故、重大事故を起こした	030
	会社の経営に影響するなどの重大な仕事上のミスをした	040
	会社で起きた事故、事件について、責任を問われた	050
	自分の関係する仕事で多額の損失等が生じた	060
	業務に関連し、違法行為を強要された	070
	達成困難なノルマが課された	080
	ノルマが達成できなかった	090
	新規事業の担当になった、会社の建て直しの担当になった	100
	顧客や取引先から無理な注文を受けた	110
	顧客や取引先からクレームを受けた	120
	大きな説明会や公式の場での発表を強いられた	130
	上司が不在になることにより、その代行を任された	140
③ 仕事の量・質	仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった	150
	1か月に80時間以上の時間外労働を行った	160
	2週間以上にわたって連続勤務を行った	170
	勤務形態に変化があった	180
	仕事のペース、活動の変化があった	190
④ 役割・地位の変化等	退職を強要された	200
	配置転換があった	210
	転勤をした	220
	複数名で担当していた業務を1人で担当するようになった	230
	非正規社員であるとの理由等により、仕事上の差別、不利益取扱いを受けた	240
	自分の昇格・昇進があった	250
	部下が減った	260
	早期退職制度の対象となった	270
	非正社員である自分の契約満了が迫った	280
⑤ 対人関係	(ひどい) 嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた	290
	上司とのトラブルがあった	300
	同僚とのトラブルがあった	310
	部下とのトラブルがあった	320
	理解してくれていた人の異動があった	330
	上司が替わった	340
	同僚等の昇進・昇格があり、昇進で先を越された	350

(注) 具体的出来事に合致せず、類推した場合には、末尾の「0」を「9」に変更し3桁のコードにすること。

## 出来事コード一覧表 (2)

出来事の種類	具体的な出来事	コード	
6	セクシュアルハラスメント	セクシュアルハラスメントを受けた	360
特別な出来事	特別な出来事の種類	コード	
7	特別な出来事	心理的負荷が極度のもの	370
		極度の長時間労働	380

(注) 具体的な出来事に合致せず、類推した場合には、末尾の「0」を「9」に変更し3桁のコードにすること。